

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月10日

上場会社名 **株式会社 ゼンショー** 上場取引所 東
 コード番号 7550 URL <http://www.zensho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小川 賢太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼CFO (氏名) 湯原 隆男 (TEL) 03 (5783) 8850
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	94,907	8.6	4,875	111.1	4,369	146.4	709	307.7
23年3月期第1四半期	87,372	10.5	2,309	9.4	1,773	0.4	174	△83.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,008百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △389百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	5	86	—	—
23年3月期第1四半期	1	43	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
24年3月期第1四半期	237,279	45,949	45,949	15.1	296	71		
23年3月期	231,190	45,887	45,887	15.6	297	12		

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 35,924百万円 23年3月期 35,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7 00	—	7 00	14 00
24年3月期 (予想)	—	7 00	—	7 00	14 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	197,622	7.1	12,268	64.9	10,928	73.1	2,837	39.7	23	43
通期	403,350	8.8	23,492	33.0	20,829	31.9	8,373	76.8	69	16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
④ 修正再表示 : 有・無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	121,100,000株	23年3月期	121,100,000株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	23,290株	23年3月期	23,230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	121,076,734株	23年3月期1Q	121,076,940株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結包括利益計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（2011年4月1日から2011年6月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により企業収益の増勢が鈍化する中、設備投資は弱含みで推移し、雇用情勢も依然として厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、一部で持ち直しの動きが見られたものの、消費マインドは十分な回復には至らず、厳しい経営環境が続いております。

当社グループはこのような状況のもと、82店舗の新規出店を行うと共に、MMD（マス・マーチャンダイジング・システム）の強化として1拠点の工場を新設し、積極的な業容の拡大とグループシナジーの追求による収益力の向上に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間末の店舗数は、82店舗出店、12店舗退店した結果、4,214店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高949億7百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益48億75百万円（同111.1%増）、経常利益43億69百万円（同146.4%増）、四半期純利益は7億9百万円（同307.7%増）となりました。

報告セグメントについては、当社はフード事業以外の報告セグメントが無いため、記載を省略しております。なお、フード事業における主要カテゴリー毎の状況は以下の通りです。

(牛丼カテゴリー)

牛丼カテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、69店舗出店、1店舗退店した結果、2,138店舗となりました。内訳は、すき家1,645店舗、株式会社なか卯493店舗（FC38店舗を含む）であります。

当社が経営する郊外型ファミリー牛丼店の「すき家」では、新規出店および広告宣伝等によるブランド力の強化を行うとともに、引続きお客様に安全でおいしい商品を安心して召し上がっていただくため、品質管理の強化とサービス水準の向上に努めてまいりました。

2011年4月には、どっさり高く盛られた白髪ねぎと、ゴマ油風味のうま辛ダレ、ピリ辛の黒胡椒をトッピングした「白髪ねぎ牛丼」（並盛380円）を新発売し、また6月には毎年ご好評をいただいております「うな丼」（並盛680円）の販売を開始するなど、既存の商品に加えて新商品や季節商品継続的に投入し、売上高は堅調に推移いたしました。

株式会社なか卯が経営する和風牛丼・京風うどんの「なか卯」につきましては、季節限定商品の投入や既存商品のブラッシュアップによる商品力の強化と店舗販促の実施により、業績の向上に努めてまいりました。

以上の結果、牛丼カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、423億92百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

(レストランカテゴリー)

レストランカテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、3店舗退店、グループの他の業態への転換を1店舗行なった結果、1,593店舗となりました。

内訳は、株式会社ココスジャパン561店舗（ライセンス82店舗を含む）、株式会社ビッグボーイジャパン323店舗、株式会社サンデーサン248店舗、カタリーナ・レストラン・グループ192店舗（FC20店舗を含む）、株式会社華屋与兵衛167店舗、当社が経営するぎゅあん65店舗、株式会社宝島37店舗であります。

株式会社ココスジャパンが経営するスタンダードレストランの「ココス」につきましては、前期より取り組んでいる売上高の確保や労働生産性の改善等によるコストコントロールを継続的に行ってまいりました。売上高につきましては、当第1四半期連結累計期間の既存店前年比が105.2%と堅調に推移いたしました。

株式会社ビッグボーイジャパンが経営するハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」等につきましては、主力商品の大俵ハンバーグのブラッシュアップとサラダバーの鮮度向上に努めてまいりました。売上高につきましては、当第1四半期連結累計期間の既存店前年比が100.3%と安定した状況で推移いたしました。

株式会社サンデーサンが経営する茹であげスバゲッティと手作りピッツアの「ジョリーパスタ」等につきましては、ランドメニューの改定や具材の豊富な季節メニューの投入を行い、「おいしい料理」「心のこもったサービス」「清潔なお店」で、お客様に満足していただくことを基本に「アメニティレストラン＝居心地の良いレストラン」づくりに全力で取り組んでまいりました。

株式会社華屋与兵衛が経営する和食レストランの「華屋与兵衛」につきましては、お客様の満足度の向上を図るため、安全・安心でおいしい商品の開発および店舗従業員の教育強化によるサービス水準の向上、労働生産性の改善等に努めてまいりました。

以上の結果、レストランカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、357億89百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

(ファストフードカテゴリー)

ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、12店舗出店、5店舗退店し、366店舗となりました。主な内訳は、当社が経営するGMフーズ106店舗、大和フーズ株式会社106店舗、株式会社はま寿司等108店舗等であります。

以上の結果、ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、103億80百万円（前年同期比36.2%増）となりました。

(その他カテゴリー)

その他カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、63億45百万円（前年同期比5.5%増）となりました。主な内訳は、ピッツァ製造販売等の株式会社トロナジャパン、醤油製造販売の株式会社サンビシヤ、機能会社としてグループの物流機能を担う株式会社グローバルフレッシュサプライ、備品ユニフォーム等を調達する株式会社グローバルテーブルサプライ等であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、82店舗の新規出店に伴う設備投資及び先行した資金調達による現預金の増加等により、60億89百万円増加いたしました。

負債につきましては、新規出店のための借入金の増加等により60億27百万円増加いたしました。

純資産につきましては、配当による利益剰余金減少があった一方、当期純利益の増加により61百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、232億73百万円（前連結会計期間末比27億55百万円の増加）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費等による収入があった一方、法人税等の支払いを行った結果、14億76百万円の資金の増加（前年同期比5億80百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得による支出等により、37億36百万円の資金の減少（前年同期比18億38百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、新規出店のための借入等を行った結果、50億4百万円の資金の増加（前年同期比7億63百万円の減少）となりました。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2011年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,518	23,273
受取手形及び売掛金	3,905	4,056
商品及び製品	5,438	6,531
仕掛品	407	364
原材料及び貯蔵品	1,955	1,999
その他	10,083	10,393
貸倒引当金	△21	△18
流動資産合計	42,286	46,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	136,650	136,779
減価償却累計額	△63,684	△63,503
建物及び構築物（純額）	72,966	73,276
機械装置及び運搬具	12,120	12,743
減価償却累計額	△7,036	△7,270
機械装置及び運搬具（純額）	5,083	5,473
その他	50,596	52,646
減価償却累計額	△20,717	△21,855
その他（純額）	29,879	30,791
有形固定資産合計	107,929	109,541
無形固定資産		
のれん	16,046	15,801
その他	5,776	5,684
無形固定資産合計	21,822	21,486
投資その他の資産		
投資有価証券	3,534	3,360
差入保証金	29,167	29,469
その他	26,397	26,777
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	59,095	59,602
固定資産合計	188,846	190,630
繰延資産	57	48
資産合計	231,190	237,279

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2011年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,103	10,043
短期借入金	1,622	9,624
1年内返済予定の長期借入金	47,062	47,683
未払法人税等	5,074	4,255
引当金	1,575	1,055
その他	22,574	23,266
流動負債合計	88,013	95,927
固定負債		
長期借入金	83,444	81,347
引当金	366	357
資産除去債務	1,148	1,186
その他	12,329	12,511
固定負債合計	97,288	95,402
負債合計	185,302	191,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,089	10,089
資本剰余金	10,642	10,642
利益剰余金	21,440	21,303
自己株式	△20	△20
株主資本合計	42,152	42,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,335	△1,452
繰延ヘッジ損益	△1,528	△1,512
為替換算調整勘定	△3,314	△3,126
その他の包括利益累計額合計	△6,178	△6,090
少数株主持分	9,913	10,024
純資産合計	45,887	45,949
負債純資産合計	231,190	237,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)
売上高	87,372	94,907
売上原価	29,562	32,941
売上総利益	57,809	61,966
販売費及び一般管理費	55,499	57,090
営業利益	2,309	4,875
営業外収益		
受取利息	56	64
受取配当金	72	78
受取賃貸料	240	190
その他	86	53
営業外収益合計	456	387
営業外費用		
支払利息	622	639
賃貸費用	194	169
その他	174	84
営業外費用合計	992	893
経常利益	1,773	4,369
特別利益		
固定資産売却益	22	0
関係会社株式売却益	—	1,196
賃貸契約解約違約金	10	—
その他	21	6
特別利益合計	54	1,203
特別損失		
固定資産除却損	161	114
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	331	—
その他	265	112
特別損失合計	758	226
税金等調整前四半期純利益	1,069	5,346
法人税、住民税及び事業税	518	2,333
過年度法人税等	—	1,974
法人税等調整額	499	119
法人税等合計	1,018	4,427
少数株主損益調整前四半期純利益	51	919
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△122	209
四半期純利益	174	709

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	51	919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117	△115
繰延ヘッジ損益	△399	16
為替換算調整勘定	76	188
その他の包括利益合計	△440	88
四半期包括利益	△389	1,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△272	797
少数株主に係る四半期包括利益	△117	210

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自2010年4月1日 至2010年6月30日）

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自2011年4月1日 至2011年6月30日）

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。